

平成27年度決算報告

一般会計歳出総額

# 110億4,790万8千円

一般会計の決算は、歳入116億1,189万5千円、歳出110億4,790万8千円で、  
差額5億6,398万7千円を平成28年度に繰り越しました。

## 会計別決算状況

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	11,611,895	11,047,908	563,987
国民健康保険特別会計	5,230,814	4,997,760	233,054
公共下水道事業特別会計	910,482	862,489	47,993
中部特定土地区画整理事業特別会計	191,939	178,209	13,730
介護保険特別会計	2,129,747	2,044,918	84,829
後期高齢者医療特別会計	293,643	292,220	1,423
合計	20,368,520	19,423,504	945,016

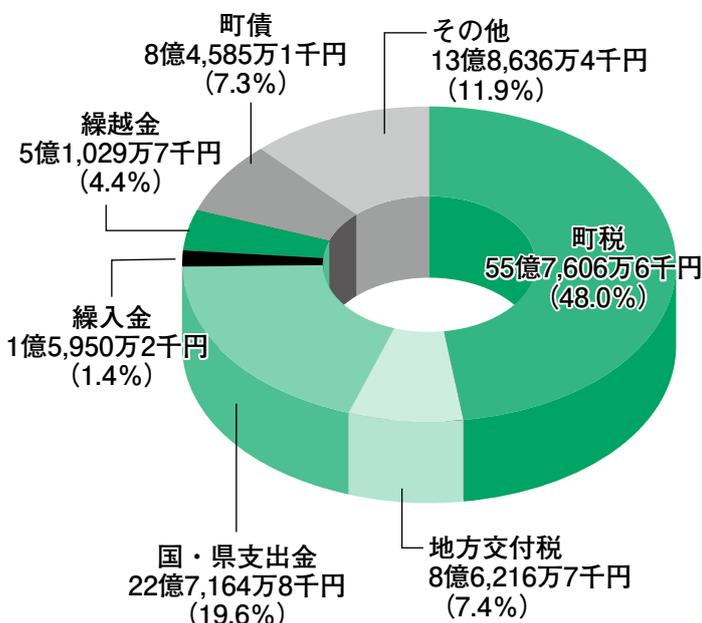
予算区分	収入	支出
水道事業	収益的	983,146
	資本的	572,020

資本的収入額が、資本的支出額に不足する額511,324千円は、建設改良積立金、減債積立金等で補てんした。

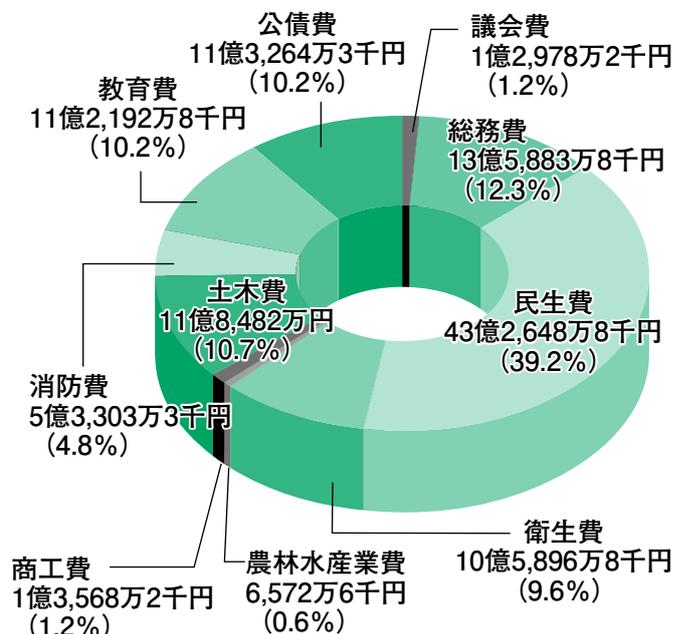
収益的収支…水道水を供給するなどの営業面の収支

資本的収支…配水管の布設などの改良事業面の収支

## 歳入 116億1,189万5千円



## 歳出 110億4,790万8千円



# 町の財政状況



平成27年度決算統計をもとに、町の財政状況をお知らせします。

## 経常収支比率

91・1%

人件費、扶助費、公債費などの毎年継続して固定的に支出される経費が、町税、地方交付税などの経常的な一般財源総額に占める割合を経常収支比率といえます。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を計る指標で、この数値が高いほど財政の弾力性がないことを示します。

町の比率は、前年度と比較し、1.7ポイントの低下となりました。

## 実質公債費比率

10・3%

町が借り入れたお金（地方債）の元金および利子の償還に必要な経費を公債費といいます。

実質公債費比率とは一般会

## 町の借入金

（地方債）残高

118億8,714万円

町の比率は、前年度と比較し、0.1ポイントの上昇となりました。

町では、国が発行する赤字国債のような赤字補てんのための借入はできませんが、地方財政法の定めるところにより地方債として借入をすることができま

平成27年度の地方債の発行額は、町道整備事業債、小学校整備事業債、臨時財政対策債等の発行を行い、前年度に比べ3億4,061万6千円、28・7%の減となりました。平成27年度末における地方債現在高は前年度に比べ、1億5,386万円、1.3%の減となりました。

# 平成27年度実施の主な事業

### 地方版総合戦略策定事業

6,833千円

### 駅舎バリアフリー化事業

3,240千円

### 総合センター耐震事業

44,539千円

### 各種予防接種実施事業

125,804千円

### 各種がん検診等実施事業

49,630千円

### 用排水路維持管理・整備事業

9,934千円

### 商工業活性化事業

11,990千円

### 観光振興事業

16,740千円

### 緑の保全・推進事業

7,323千円

### 小・中学校施設維持管理事業

51,004千円



学校施設の維持管理等に加え、町立小中学校全7校の普通教室等にエアコンを設置し、学習環境の向上を図りました。

### 小・中学校整備事業

104,319千円

### 福祉三医療費支給事業

258,026千円

### 放課後児童対策事業

82,464千円

### 民間保育所整備促進事業

199,185千円

### いな穂街道整備事業

190,375千円



総合センター耐震補強工事（3階部分）を実施し、利用者の安全確保が図られました。

### 救急救命士育成事業

2,198千円

### 高機能消防指令センター共同運用事業

19,012千円



緑のトラスト保全第13号地の一般開放に向け、樹林地・桜並木の整備工事を実施しました。